

公共工事等における新技術活用システム  
事後評価結果通知書

ダンレックス株式会社 御中

国土交通省  
東北地方整備局長  
( 公 印 省 略 )

下記の技術について、新技術活用評価会議における評価の結果を通知します。なお、評価結果については NETIS に掲載します。

記

- 1 技術名称 高速点滅による残像効果と同期点滅を組み合わせた工事灯「タクトアイズ 2.4」
- 2 NETIS 登録番号 KT-230147
- 3 評価結果 活用効果評価結果のとおり
- 4 継続調査等の必要性について 継続調査等を必要としない。
- 5 その他 この結果に基づき、当該技術の NETIS 登録番号・情報種別記号は「-VE」に変更されます。なお、今後の活用効果調査及び事後評価は実施されません。

異議申立について

上記について異議がある場合は、事後評価結果を通知した日から起算して 10 日以内に東北地方整備局長宛てに異議理由を明示した書面を提出することにより、異議申立を行うことができます。

(提出先)

東北地方整備局  
新技術活用評価会議事務局

# 活用効果評価結果

令和7年度

東北地方整備局 / 新技術活用評価会議

NETIS 情報	開発目標		安全性の向上 品質の向上																								
	新技術登録番号	KT-230147- VE	区分	製品													有用な技術の位置づけ	-									
	分類	仮設工 - 仮設材設置撤去工																									
	新技術名	高速点滅による残像効果と同期点滅を組み合わせた工事灯「タクトアイズ2.4」 (高速点滅による残像効果と2.4GHz周波数帯を使用し工事灯を同期点滅させる技術)																									
	比較する従来技術 (従来工法)	ソーラー工事灯																									
新技術の概要及び特徴	本技術は、高速点滅と2.4GHz周波数帯を使用し同期点滅させる工事灯で、従来は同期点滅の無いソーラー工事灯で対応していた。本技術の活用により、工事灯の輝度が低下しないことから視認性が確保できる。																										
活用 効果 評価	所見	活用効果調査結果により従来技術と同程度である。  【施工時評価】 経済性：機能は向上し維持費用は低減するが、製品単価が高価な為、経済性が低下する。 品質・出来形：色抜けがなく視認性が低下しないため、品質が向上する。 安全性：高速点滅と同期点滅により、視認性が良くなり、安全性が向上する。																									
	次回以降の評価に 対する視点と評価の 必要性	活用効果調査の結果、活用現場の違いによる大きな差異は認められないため、情報種類記号を「-VE」とし、今後の活用調査、事後評価は実施しないものとする。																									
	留意事項																										
	活用効果調査表 における 改良点及び要望																										
活用 効果 調査 結果	対象 工事	1	スノーシェッド補修工事	北陸地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		2	掘削及びかさ上げ工事	九州地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		3	舗装工事	中部地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		4	安全施設整備他工事	近畿地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		5	護岸工事	近畿地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		6	舗装修繕工事	四国地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		7	防災工事	中国地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		8	舗装修繕工事	九州地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		9	トンネル舗装工事	中国地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		10	標識区画線設置工事	中部地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		11	歩道整備工事	中部地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		12	河道掘削工事	近畿地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		13	舗装工事	中部地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		14	災害復旧工事	北陸地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		15	緑地管理作業	中国地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		16	維持補修工事	北陸地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		17	舗装修繕工事	北陸地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		18	トンネル舗装工事	中国地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		19	自然再生伐採他工事	北陸地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
		20	道路工事	北陸地方整備局	(従来技術：{ソーラー工事灯})													施工者選定型(契約後提案)									
施工 時 評価	項目	ケース番号 および年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	項目の 平均(点)	従来技術 (従来工 法)(点)			
	経済性	R6	C	D	B	D	D	C	C	C	D	D	C	D	D	C	D	D	-	D	D	D	D	C			
	工程	R5	-	C	C	C	C	-	C	-	C	C	C	C	C	-	C	C	-	C	C	C	C	C			
	品質・出来形	R6	-	B	C	B	C	-	C	-	C	B	B	B	B	-	C	-	-	C	B	B	B	C			
	安全性	R6	A	B	A	B	A	A	B	B	B	A	A	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	C			
	施工性	R6	-	C	B	C	C	-	B	-	C	C	C	C	C	-	C	C	-	C	C	C	C	C			
	環境	R6	C	C	B	C	C	-	B	-	C	C	C	C	C	-	C	C	-	C	C	C	C	C			
その他	R6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
総合評価点	R6	B	C	B	C	C	B	C	B	C	C	C	C	C	C	B	C	C	B	C	C	C	C				
今後、当該技術を活用出来る 工事に活用したいか	今後是非活用したい		45%			活用を検討したい			45%			場合によっては活用 することもある			10%			技術の改良を強く望む			0%			優位性における判定		A	従来技術より大幅に優れる
																							B	従来技術より優れる			
																							C	従来技術と同等			
																							D	従来技術より劣る			
追跡調査の必要性	無し																										
追跡調査	-																										

